

リチウムイオン電池に起因 する火災事故防止について

埼玉県環境部資源循環推進課

企画調整・一般廃棄物担当

現状と課題

- 昨今、リチウムイオン電池が原因と見られる火災が、ごみ処理場等で頻発
- 可燃ごみ、不燃ごみ等に紛れ、加圧、破碎により発火
- 復旧や当面のごみ処理に莫大な費用
- ごみ処理の停止
- 分別がされていない
- 捨て方、内蔵製品が把握されていない



蕨戸田衛生センター火災事故後

取組の紹介（レアメタル回収）

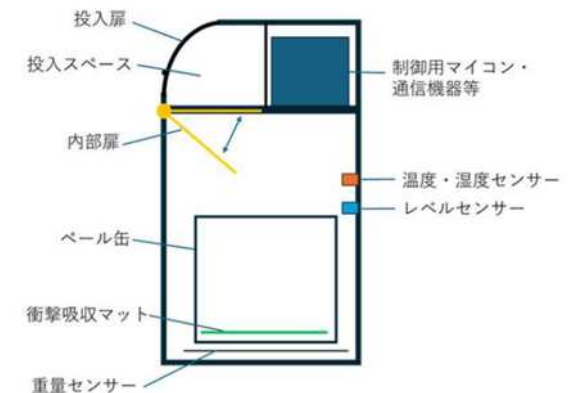
- 処理ルートを確認することで、分別排出の下地を作る
- 市が回収したリチウムイオン電池等をコバルト等のレアメタルに再資源化
- 市からの売却が可能と確認できた（一部製品を除く）。



取組の紹介（拠点回収）

- 排出場所を増やし、捨てやすさや分かりやすさ向上を図る
- コンビニ、スーパーマーケットに設置して、回収を実施
- 一部、対象外製品の混入は見られたものの
利便性が高いという結果が得られた。

専用収集ボックス 構成図



温度や重量を常時監視することが可能

取組の紹介（絶縁に代わる放電処理）

- ごみ処理施設における、テープを用いた絶縁処理作業の負担軽減を図る
- 浸漬による放電に適した薬品を検討
- 電池との化学反応による沈殿物が少ない薬品の絞り込みに成功した。

